

労働環境改善スケジュール

おとり	活り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	9月							10月							11月			12月	1月	2月	3月	4月以降	備考																		
				24	8	15	22	29	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																					
防備	1	防護装備の適正化検討 (実績) ・DS2マスク不要作業でのDS2マスクを着用しない運用の定着、推進 (予定) ・DS2マスク不要作業でのDS2マスクを着用しない運用の定着、推進 ※管理対象区域を3つのゾーンに区分し、各区分に応じた防護装備を着用することで、作業時の負担軽減による作業性の向上を図る	現場作業	DS2マスク不要作業でのDS2マスクを着用しない運用の定着、推進																					(継続実施)																			
				ヒューマンエラー	2	ヒューマンエラー発生防止 (実績) ・安全衛生推進協議会の開催：協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等 (予定) ・安全衛生推進協議会の開催：協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等	現場作業	協力企業に対するヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等																					(継続実施)	四半期毎に実施している不適合やヒューマンエラーの分析結果を踏まえ、安全衛生推進協議会にて四半期に一回程度、協力企業に対しヒューマンエラー発生防止の意識向上と基本動作の徹底等を啓発														
人身安全	3	重傷災害撲滅、全災害発生状況の把握 (実績) ・協力企業との情報共有、安全施策の検討・評価 ・安全衛生推進協議会の開催：災害事例等の再発防止対策の周知等 ・作業毎の安全施策の実施（TBM-KY等） ・熱中症予防対策の実施（4～10月） (予定) ・協力企業との情報共有、安全施策の検討・評価 ・安全衛生推進協議会の開催：災害事例等の再発防止対策の周知等 ・作業毎の安全施策の実施（TBM-KY等） ・熱中症予防対策の実施（4～10月）	現場作業					情報共有、安全施策の検討・評価										熱中症予防対策の実施（4～10月）										(継続実施)																
				労働環境改善	4	長期健康管理の実施 (実績) ・検査対象者・医療機関等からの問い合わせ対応及び検査費用の精算手続き (予定) ・検査対象者・医療機関等からの問い合わせ対応及び検査費用の精算手続き ・2023年度対象者（社員）への「白内障検査」（柏崎刈羽）実施 ・2023年度対象者（社員）への「白内障検査」（本社）実施	現場作業	健康相談受付																					(継続実施)															
健康管理	5	継続的な医療職の確保と患者搬送の迅速化 (実績) ・1F救急医療室の2024年1月までの医師確保完了（固定医師1名+ローテーション支援医師） ・1F救急医療室の11～1月の勤務医師調整 (予定) ・1F救急医療室の2～4月の勤務医師調整 ・1F救急医療室の5～7月の勤務医師調整	検討・設計					1F救急医療室の11～1月の勤務医師調整											1F救急医療室の2～4月の勤務医師調整										1F救急医療室の5～7月の勤務医師調整										新規追加（4月まで継続実施）					
				労働環境改善	6	感染症対策の実施 (実績) ・新型コロナウイルス感染症対策の実施 ・インフルエンザ予防接種の実施 (予定) ・新型コロナウイルス感染症対策の実施 ・インフルエンザ予防接種の実施	現場作業	新型コロナウイルス感染症対策の実施											インフルエンザ予防接種の実施																									
要員管理	7	作業員の確保状況と地元雇用率の実態把握 (実績) ・作業員の確保状況と地元雇用率についての調査・集計 (予定) ・作業員の確保状況と地元雇用率についての調査・集計	検討・設計					▼作業員の確保状況調査依頼											作業員の確保状況集約										▽作業員の確保状況調査依頼										作業員の確保状況集約					
				労働環境改善	8	労働環境・就労実態に関する企業との取り組み (実績) ・労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握 ・意見交換及び実態把握に基づく解決策の検討・実施・結果のフィードバック ・相談窓口への連絡（処遇・労働条件等）への対応 ・作業員へのアンケートによる実態把握 (予定) ・労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握 ・意見交換及び実態把握に基づく解決策の検討・実施・結果のフィードバック ・相談窓口への連絡（処遇・労働条件等）への対応 ・作業員へのアンケートによる実態把握	検討・設計	労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握、解決策の検討・実施・結果のフィードバック																					(継続実施)															
労働環境改善	8	労働環境・就労実態に関する企業との取り組み (実績) ・労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握 ・意見交換及び実態把握に基づく解決策の検討・実施・結果のフィードバック ・相談窓口への連絡（処遇・労働条件等）への対応 ・作業員へのアンケートによる実態把握 (予定) ・労働環境・就労実態に関する意見交換及び実態把握 ・意見交換及び実態把握に基づく解決策の検討・実施・結果のフィードバック ・相談窓口への連絡（処遇・労働条件等）への対応 ・作業員へのアンケートによる実態把握	現場作業					作業員へのアンケート（第14回）																					公表（12月下旬）															

活動 の 活 り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定		9月	10月				11月	12月	1月	2月	3月	4月以降	備考
		24	9	15	22	29	上	中	下	上	中	下	上	中	

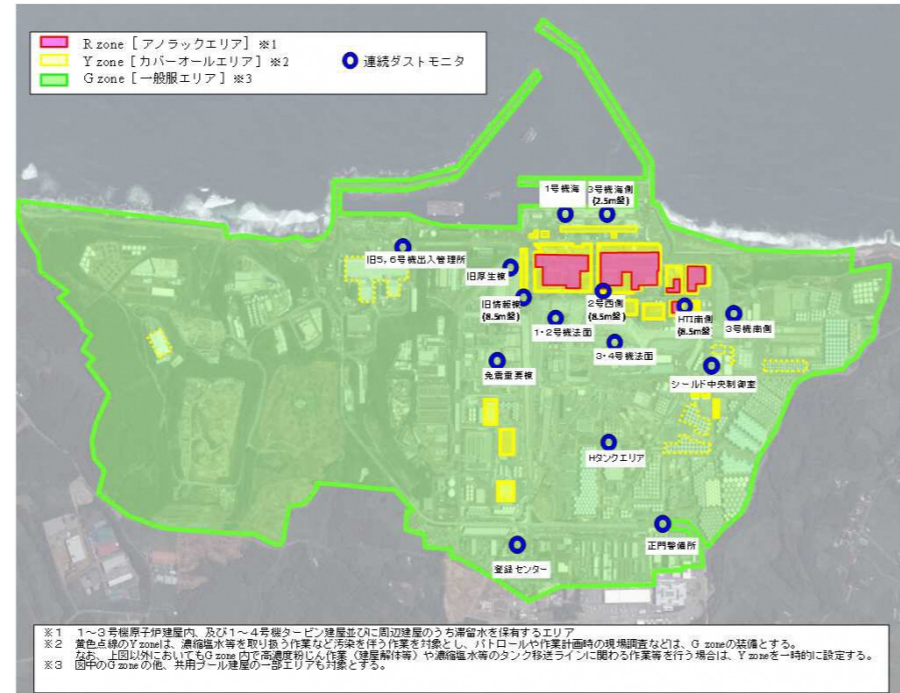
廃炉中長期実行プラン2023

年度	2022(実績)	2023	2024	2025	2028	2034
その他	管理対象区域内の企業棟整備（計画的に順次整備する）					

<凡例>

- 作業の期間
- 変更が見込まれる期間
- 工程間の関連
- 追加した工程
- 変更した工程
- 実施を取り止めた工程

注：今後の検討に応じて、記載内容には変更があり得る



※1 1～3号機原子炉建屋内、及び1～4号機タービン建屋並びに周辺建屋のうち滞留水を保持するエリア
 ※2 黄色点線のY zoneは、濃縮塩水等を取り扱う作業と汚染を行う作業を対応とし、ハトリールや作業計画時の現場観察などは、G zoneの基準とする。
 なお、上記以外においてもG zone 内で高濃度汚染作業（燃料解体等）や濃縮塩水等のタンク移送ラインに関わる作業等を行う場合は、Y zoneを一時的に設定する。
 ※3 図RのG zoneの他、共用ホール建屋の一部エリアも対象とする。

管理対象区域の運用区分 レイアウト 提供：日本スペースイメージング、©DigitalGlobe

東京電力ホールディングス株式会社

安全・品質トピックス

(2023年度1Qでの不適合・H E・災害等の振り返り)

東京電力ホールディングス株式会社



1. 2023年度1Qの主な発生状況

- 不適合全体は昨年度に続き、今年度も減少傾向で、現場作業での不適合やH Eも減少してきている。
- 災害は昨年度に若干減少したが、今年度は昨年度並みであり、減少には至っていない。
- 特に昨年度から、現場移動や準備・片付け作業（付帯作業）での災害が多く発生している。

2. 付帯作業での災害防止に向けて

- 次回の作業安全ディスカッションでは、「付帯作業での災害防止」をテーマに以下の観点で議論したり、各社の取り組み事例を紹介して頂くことを考えています。
 - ①準備・片付け等の付帯作業でも、本体作業と同様に作業計画・体制・配置・手順等を事前に決めているか。（どこまで事前に決めるべきか）
 - ②付帯作業でも直前現場・現物確認（現場KY）を行い、付帯作業に潜むリスクを抽出・排除しているか。（行っていないとしたら何故か）
 - ③作業中に違和感・やりづらさを感じたら、必ず立ち止まって相談することを、作業関係者と対話しながら、どのように理解・浸透させているか。（どうすれば浸透させることができるか）
- 作業安全ディスカッションの開催案内は別途連絡しますが、それまでに現場作業を実施する協力企業各社において、どうすれば本体作業と同様に安全意識を高めることができるか、上記①～③の観点から、実態把握や取り組み事例も含めて、事前に考えておいて頂くようお願いいたします。
- 引き続き、各社で取り組んでいる現場の良好事例を抽出し、安全衛生推進協議会等を通じて共有していきますので、他社の良好事例を自社でも取り入れて現場を改善するなど、より安全な状態で現場作業を進めていきましょう。

3. ヒューマンパフォーマンスツール（HPT）の活用

HPT（HE防止の手段）について、もっと身近に感じて実務で活かせるよう、イラストを用いた資料を作成していますので、ぜひご活用下さい。

★これまで安全衛生推進協議会の中で一通り紹介してきた「HPTの活用」資料を掲載

fuku1 企業ネット

福島第一原子力発電所
現場ルール集

17 保全作業のルール・
ツール
ヒューマンパフォーマンス
ツール（HPT）資料の掲載
について（その2）

ヒューマンパフォーマンスツール(HPT)資料の掲載について(その2)
 ▶文書作成情報

内容:
 ヒューマンエラー（H E）防止の取り組みとして、安全衛生推進協議会の定例会議で、H Eの要因分析とヒューマンパフォーマンスツール（HPT）の紹介をしてあります。
https://sso.int.tepco.co.jp/sso/dfw/corp_domino_clb/corp/f1gh/bousai/8010302bosaian.nsf/?defaultView?OpenView&Start=1&Count=30&Expand=2#2

そこで紹介したHPTの資料をこのページにも掲載しますので、ご活用頂ければ幸いです。
 ・a. は概要版
 ・b. は動きを説明したもので、
 (1) (2)はパワーポイントの画面をページ送りすると、動きが分かり易いので、ご活用下さい。

扱い:
 東京電力ホールディングス株式会社
 1 F 保安計画 G 山口 (090-6720-5878)、西野 (090-6720-6768)、森下 (090-6720-6277)

掲載資料

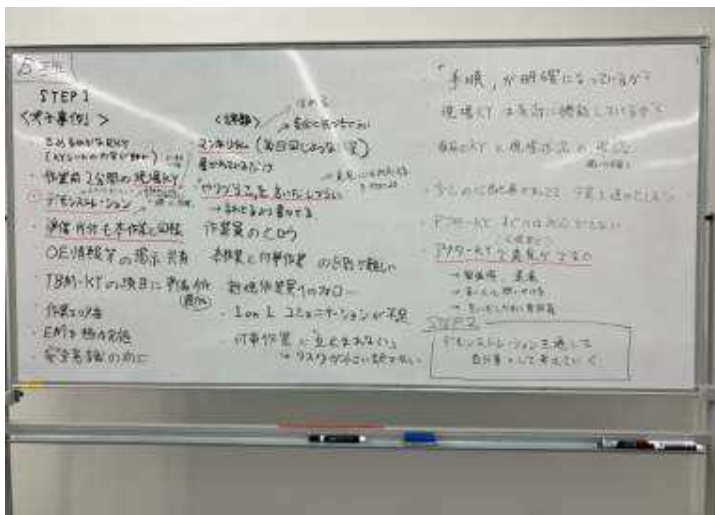
- (1) **ブレイクイーピング/サークルスラッシュ**（手順書の中で実施する番号に「O」、実施したら「/」）
 - a. 20220127 安推協 HPTの活用 (TEPCO)サークルスラッシュ.pdf
 - b. 20220127 HPTの活用 (TEPCO)サークルスラッシュ (補足付き).pptx
- (2) **3Wayコミュニケーション**（伝えるだけでなく、「伝わったか」まで確認）
 - a. 20220512 安推協 HPTの活用 (TEPCO)3Wayコミュニケーション.pdf
 - b. 20220512 HPTの活用 (TEPCO)3Wayコミュニケーション (補足資料).pptx
- (3) **TBM-KY**（作業に参加する「全員」で話し合う）
 - a. 20220802 安推協 HPTの活用 (TEPCO) TBM KY.pdf
 - b. 20220802 HPTの活用 (TEPCO) TBM KY (補足付き).pptx
- (4) **事前レビュー、現場レビュー**（事前の準備が大切、自分の目で確認）
 - a. 20221110 安推協 HPTの活用 (TEPCO) 事前レビュー現場レビューr2.pdf
- (5) **STAR**（不安があったら立ち止まる勇気）
 - a. 20230126 安推協 HPTの活用 (TEPCO) STAR.pdf
- (6) **作業後レビュー/アフターKY**（作業を振り返って日々改善を）
 - a. (6)a 20230511 安推協 HPTの活用 (TEPCO) 作業後レビューr2.pdf

以降、後日掲載
 (7) (検討中)



【参考】作業安全ディスカッション風景

○9月上旬に「付帯作業での災害防止」に向けて、協力企業各社と当社で作業安全ディスカッションを実施



【参考】現場作業での取り組みの良好事例紹介

土木系企業による『心に響く現地KY』

- 9月上旬に実施した作業安全ディスカッションでの対話にヒントを得て、所長自らが『心に響く現地KY』と題した取り組みを考え、現場に提案した。
- 現地KYでは、安全行動ポイントだけでなく、本工事や付帯工事など、工種別の現場リスクや対策を話し合い、黒板に明示する取り組みを開始した。また、作業中に気づいた点があれば、作業員が黒板に追加で記載している。

